

産業建設委員協議会記録

開会年月日	平成27年7月8日
開会時刻	午後1時00分
閉会時刻	午後1時14分
出席委員名	◎浜口 和久 ○世古 明 上村 和生 北村 勝
	辻 孝記 山根 隆司 杉村 定男 山本 正一
	宿 典泰
	小山 敏議長
欠席委員名	
署名者	
担当書記	中田 隆人
協議案件	お伊勢さんプレミアム付商品券の追加発行について《報告案件》
説明者	産業観光部長、産業観光部参事、商工労政課長
	その他関係参与

☆協議経過並びに概要

浜口委員長開会宣言及び会議成立宣言後、直ちに会議に入り、報告案件の「お伊勢さんプレミアム付商品券の追加発行について」の報告を当局から受け、若干の質疑の後、聞き置くこととして閉会した。

なお、概要は次のとおりです。

開会 午後1時00分

◎浜口和久委員長

ただいまから産業建設委員協議会を開会いたします。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立いたしております。

本日御協議願います案件は報告案件として、「お伊勢さんプレミアム付商品券の追加発行について」でございます。

これより会議に入ります。

会議の進行につきましては、委員長に御一任願いたいと思いますが御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎浜口和久委員長

御異議なしと認めます。そのように取り計らいさせていただきます。

それでは、「お伊勢さんプレミアム付商品券の追加発行について」の報告をお願いいたします。

産業観光部長。

●佐々木産業観光部長

本日は御多忙のところ、議会終了後に産業建設委員協議会を開催いただきまして、まことにありがとうございます。

本日御報告をさせていただきます案件は、先ほど委員長から御案内がありましたとおり、「お伊勢さんプレミアム付商品券の追加発行について」でございます。詳細につきましては、商工労政課長から御説明申し上げますので、よろしく願いをいたします。

●筒井商工労政課長

それでは、お伊勢さんプレミアム付商品券の追加発行につきまして、御報告を申し上げます。お伊勢さんプレミアム付商品券につきましては、去る6月29日月曜日から7月13日月曜日までの期間で往復はがきによる販売予約申し込みの受け付けを開始いたしましたところ、おかげさまで大好評をいただき、わずか2日間で販売予定数の5万冊を超え、予約申し込みの受け付けを終了させていただいたところでございます。この状況を受けまして、発行主体であります伊勢商工会議所から次のような申し入れがございました。その内容につきましては、「市民からの多くのお尋ねや、市内中小業者からこの機をとらえさらなる振興につなげたいとの声もあり、一層の消費喚起を促すため追加発行を行いたい。ついて

は、市財政が厳しいことは承知しているが何とか助成をお願いしたい」と、このようなものでございました。そこで市内部で検討いたしました結果、前回同様プレミアム分、及び事務経費について助成することといたしましたので御報告を申し上げます。

お手元の資料を御高覧ください。まず追加発行の目的でございます。前回は申し込み開始後2日間で受け付け終了となりましたため、購入を希望される市民がまだ多くいらっしゃるであろうことから、追加発行することでさらなる消費喚起が期待でき、また中小規模店を初めとする市内業者の振興、ひいては地域経済の活性化を図ろうとするものでございます。

次に一つとびまして、3の追加発行冊数でございます。今回、追加発行いたします商品券は1万冊といたしておりますが、これは冒頭に申し上げました市内部の決定を受けて、商工会議所との協議を経て設定したものでございます。商品券の形態につきましては、前回同様1,000円の共通券が8枚、500円の中小規模店専用券が8枚の16枚つづりといたしております。

次に、戻りまして2の追加発行に係る財源でございますが、20%のプレミアム分、及び事務経費につきまして市単費で対応することといたしております。金額につきましては、プレミアム分が2,000万円と、そのほかに事務経費として約500万円を想定いたしております。お申し込みは一人2冊を上限とさせていただき、申し込み冊数が発行冊数を超えた場合は抽せんを行い、その結果、例えば2冊購入を希望されておりましたが1冊にさせていただくなどの調整を行うことといたしております。また、より多くの方々に本商品券を購入いただきたいことから、前回購入申し込みをいただき予約いただけた方は、今回の追加発行へのお申し込みはしていただけません。販売方法につきましては、前回同様往復はがきによる予約申し込み制といたしますが、今回は先着順ではなく、期間中受け付けた申し込みはがきにより抽せんを行います。そして、予約いただけた方には伊勢商工会議所ほかの引きかえ場所で、そのはがきと引きかえに商品券を販売いたします。

最後に追加発行のスケジュールでございますが、8月17日月曜日から24日月曜日までの8日間、販売予約申し込みを受け付けます。なお期間中の消印のみ有効とさせていただきます。お申し込みをいただいた方への結果の通知は9月下旬に発送させていただきます。商品券との引きかえは、10月1日木曜日から16日金曜日までといたします。商品券をお使いいただける期間は、10月1日木曜日から12月31日木曜日まででございます。期間が大変短こうございますが御了承を賜りたいと存じます。

なお、本件につきまして市民の方々への周知を図るべく、本日の御報告と同内容の記事を広報いせ8月15日号に掲載することといたしております。報告は以上でございます。よろしくお含み置きくださいますよう、お願い申し上げます。

◎浜口和久委員長

本件は報告案件でございますが、特に発言がありましたらお願いいたします。
辻委員。

○辻 孝記委員

大変ありがたいことでございますが少し確認をさせてもらいたいと思います。追加発行

にかかるプレミアム分2,000万と500万の経費に関しまして、財源的にはどのような形でされるのか、まず教えてください。

●筒井商工労政課長

御説明で市単費と申し上げましたけれども、今回の追加発行の目的がさらなる消費喚起と市内業者の振興、それから地域経済の活性化を図るということでございます。去る3月定例会でお認めいただいております平成26年度一般会計補正予算第7号、こちらが国の緊急経済対策として実施される交付金事業、これを活用しまして消費喚起、あるいは地方創生、こちらのかかる事業を計上しておるものでございますけれども、その趣旨に鑑みまして、今回のプレミアム付商品券の追加発行につきましても、この予算で賄うことがよろしいのではないかと、そういうことで考えております。

○辻 孝記委員

補正のときに上げてもらったのが1億2,850万という予算が上がっておったと思います。この中で1億円分と、それから2,850万の経費というふうな形だと思うんですが、その中で賄えるというお話だったみたいですが、それで大丈夫なんですか。

●筒井商工労政課長

7号補正で上げさせていただいたプレミアムの部分は確かに1億2,850万でございますけれども、それだけではなしに、あのときに総務費の地域住民生活等緊急支援費、こちらを新しく設けていまして、そこで3億9,791万9,000円の予算を計上させていただいておりますけれども、この中で賄うということでございます。

○辻 孝記委員

あともう1点ですが、今回、スケジュール的に8月17日から26日の間の消印有効の往復はがきよっての申し込みの中で、多数であれば抽せんというお話がありました。当初、先月の29、30日の2日間で完売となったという状況ではありますけれども、これは申し込みでありまして、実際、販売というか交換できるときは8月1日からということで、8月1日からその月内というお話だったと思います。そこで、8月31日までに引きかえに来なかった方が当然出てくる可能性はあろうかというふうに思います。当初5冊買おうと思っても予定が違って来たという人も出てくるかもわかりませんが、そういったときの対応というのはどのようなになるんですか。

●筒井商工労政課長

今おっしゃられた5冊で申し込みされていましたが、都合で4冊とか3冊とか、それは原則としてお断りを申し上げておりますけれども、例えば引き換えにみえなかったとか、そういうことで残りました商品券につきましては、今回の1万冊にプラスして抽せんをさせていただくことになろうかと思っております。

○辻 孝記委員

なるべくみなさんに行き渡るような形での取り組みをしっかりとお願いしたいと思いません。

◎浜口和久委員長

他に御発言はありませんか。

上村委員。

○上村和生委員

もう少しお聞かせをいただきたいなと思います。これ、1番最初にいただいたときに産業建設委員協議会ということでありまして、経費も発生するのではないかなということでも協議会でどうなのかなというふうに最初は思ったわけなんですけれども、聞かさせていただいて少しわかりました。ただですね、まずこれ追加発売が1万冊というようになった、例えば2万冊、3万冊ということではなくて、1万冊ということになったいきさつということについては、ちょっと教えていただきたいなと思います。

●筒井商工労政課長

第1回目のときは、お一人5冊までで5万冊ということでした。今回は1万冊でお一人2冊という条件を設けてさせていただいております。しかしながら、先ほど説明の中でも申しあげましたように、もしも申し込みが多数になって、予定発行数をかなり上回るような場合は、買っていただける冊数の調整をさせていただくことも考えておりますので、1万冊で何とかお願いしたいと考えております。

○上村和生委員

ということは今のところは1万冊、例えば、次にものすごい人気が出てということがあったときに、また再々というようなことも検討があるのか、その辺だけ少し教えてください。

●佐々木産業観光部長

前回のときには、今、課長申しあげましたように1人5冊ということで、先着順ということで、実際に内容を見てみますと申し込みをいただいたほとんどの方が5冊を申し込んでいただいたというところがございます。私どもとして、たくさん買っていただいて消費喚起をさせていただくのはもちろん結構なことなんですけど、予算にも限度がございます。そのような中で、今回1万冊の中で、できる限り皆さんに渡るような方法で努力をさせていただきたいというふうに考えておりますので、よろしくお願いをいたします。

○上村和生委員

合計で6万冊の発行になるかと思えます。この商品券の発行だけでなく、次に買い物に来ていただけるというようなお考えも、ぜひとも考えていただいて、サイクルでまわるというか、そんな考えもぜひとも考えていただきたいなというふうに思っていますので、その辺どうでしょうか。

●筒井商工労政課長

いわゆる販促と言われる部分かと思えますけれども、そちらにつきましては商店街さんのほうでも何かされるようなことも聞いておりますし、そういったときには、市として何か調整できることがあればさせていただきたいと考えております。

○上村和生委員

ぜひともその辺もしていただきたいと思います。早急にやることなんで。僕も少し疑問に思うところもあるんですけども、やる以上は成功させていただきたいなというふうに思います。

それから、これ、地域住民生活等緊急支援費というところから、16項目あると思うんです。これをやることによって、今回の1万冊プラスアルファで発行することによってほかの事業に影響がでないように、きっちりとやっていただきたいと思います。私は、これ、報告事項ということですので、意見だけ言わせていただいて終わらせていただきたいと思いますけれども、この中のほかの項目、16項目見させていただく中で、例えば介護用品支援事業とか、また、例えば子供のための防災対策強化事業とかいうような事業もあると思うんです。その辺の事業についても、もっともっと力も入れていただきたいと思いますというように思いますので、そんなことも申し添えて私のほうからは終わっておきます。

◎浜口和久委員長

他に御発言はありませんか。

御発言もないようですので、本件についてはこの程度で終わります。

以上で御協議願います案件は終わりましたので、これをもちまして協議会を閉会いたします。

閉会 午後1時14分